



村上市

農業委員会だより

No. 23
令和8年2月

撮影場所：収穫期を迎え、黄金色に染まった吉浦集落の田園風景（ドローン撮影）

吉浦では中間管理機構を通じた農地の貸借を進め、吉浦地内の8割以上の田を担い手へ集約しました。担い手が効率的に営農を継続できる基盤が整ったことで、将来にわたり優良な農地を維持していくことが可能となります。今後は交付金を活用しながら、農地や水路の保全、改修を行い、地域と担い手が一体となって地域農業を守っていきます。

農業委員会
ホームページ



新年ごあいさつ

村上市農業委員会

会長 石山

章



新年あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、健や
かに新年をお迎えのこととお喜び申
し上げます。

昨年は、農業の基礎となる農林業
センサスの速報から農業者の減少が
報道されていきました。あらためて担
い手の必要性が感じられた年でし
た。また、米の市場では、全国的な
米不足による米騒動の中、政府の備
蓄米の放出、その後の新米価格高騰
など、生産者が計り知れないところ
で様々なことが起きた一年でもあり
ました。

さて、担い手といえば、今年の11
月には、「全国農業担い手サミットin
にいがた」が朱鷺メッセで開催され
ます。このサミットは、全国の認定
農業者など担い手が一堂に集い、日
本の農業経営の現況や課題について
の認識を深め、交流・研鑽するもの
です。本市の農業者にも、ぜひ参加

いただきたいので、時期が来ました
らご案内させていただきます。
最後に、本年は、農業委員の改選
の年でもあります。村上市の農業が
一層発展していくために、若い世代
の農業者、特に女性農業者の応募を
お待ちしております。

本年もより良い年となるよう祈念
し、新年のご挨拶といたします。



農業委員会活動

農業委員会では、地域の農業を守るため、様々な活動や研修に参
加していますので、活動内容を紹介します。

7月～8月 農地パトロール強化月間

農業委員会では、遊休農地の発生
防止・解消等を目的に、年に1回程
度、農業委員、農地利用最適化推進
委員、市職員が農地を見回り、新た
に遊休化した農地はないか、違反転
用はないかなど管内の農地を対象に
実施しています。



有害鳥獣対策視察研修

農業委員会では、市の農業に反映
することを目的に地域課題解消に関
する研修を実施しています。

今年度は、10月22日、農業委員と
推進委員、農林水産課職員が長野県
小諸市で取り組んでいる有害鳥獣対
策について研修をしてきました。

小諸市では、急激に増えた鹿対策
として、全国で初めて猟友資格を持
つ職員（ガバメントハンター）を採
用し、職員が主となり猟友会のハン
ターと協力して鹿の駆除に取り組ん
できたお話をいただきました。
ハンターが狩猟だけで生計ができる
仕組みや捕獲後の鹿をペットフード
に加工し、販売するまでの試行錯誤
してきた内容を説明していただきま
した。

現在はペットフードの商品をふる
さと納税の返礼品として販売し、そ
の収益の一部が市の有害駆除対策事
業に充てられているとのこと

した。
本市にとっても参考となる視察研修でした。



北信越ブロック女性の農業委員会研修会



女性の農業委員研修会が10月28日に石川県小松市で開催されました。本市からは農業委員、推進委員の2名が参加しました。

研修会では、里山再生と再生エネルギーの取り組みの視察と新規就農支援事業について講演があり、その後、ワークショップでは、女性農業委員登用の現状と課題について話し合いが行われました。

現地視察では、AIを活用したハウスで、バイオマス暖房機と地下水冷暖房システムを利用して、水の管理や温度、湿度が自動制御され、もみ殻溶液栽培システムを利用したトマト栽培で、長期間収穫できるスマート農業を見学しました。

近年の異常気象や人手不足でスマート農業はなくてはならないものです。新しい技術は大変参考になりました。

富樫あゆみ委員

農業施策等に関する意見書提出

農業委員会は、市の農業施策について意見書を提出し、提案等を行っています。本年も会長と役員4名が出席し、10月29日市役所で市長へ「令和8年度農業施策等に関する意見書」を提出しました。

意見書は、地域農業を守る体制整備や有害鳥獣から農作物を守る支援策の強化、新たな農業技術の推進など五つのテーマについて意見書を提出しました。

市の農業に一つでも反映できるように期待しています。



新潟県農業委員会大会



農業委員会大会が、11月5日新潟市朱鷺メッセで県内農業委員、推進委員が参加し開催されました。

大会では、農業委員等の永年勤続表彰、本県農業の維持発展を念頭とした要請の決議、地域計画の実現とブラッシュアップを中心とした中央情勢報告、今後の米政策についての知識習得の基礎講演が行われました。

永年勤続表彰では、当農業委員会の板垣栄一委員が勤続20年以上として県農業会議会長表彰を受賞されました。



農の フォトギャラリー



山北ビレッジプラン
(簡易水路設置作業)



見たことある(岩船花畑夢物語)
岩船花畑プロジェクト



老後の備えに農業者年金

農業者年金の特徴・メリット

- ・ 農業者の方なら広く加入できる
- ・ 積立方式(確定拠出型)で少子高齢時代に強い
- ・ 保険料の額は自由(月額2~6万7千円)に決められる
- ・ 35歳未満の方は、月額1万円から加入可能
- ・ 終身年金で、80歳前に亡くなられた場合でも80歳までの保証付き
- ・ 税制上の優遇措置がある
- ・ 一定の要件を満たせば保険料の国庫補助が受けられる

※詳しくは最寄りのＪＡ・農業委員会へお問い合わせください。



とある農家の
ハートの形をした品種マイハート



お願い

農地の適正管理について

農地は、一度荒れてしまうと、元の状態に戻すのに大きな労力と費用がかかります。また、放置することで病害虫の発生や不法投棄を誘引するなど、近隣住民や周辺農地に影響を及ぼします。

定期的に草刈をするなど適正な管理に努めてください。

農地の転用には許可が必要

農地の転用には農業委員会の許可が必要で、許可がない転用は違反となります。また、地域計画内での転用は、地域計画からあらかじめ除外が必要です。詳しくは農業委員会へお尋ねください。

【許可が必要な例】

- ・ 住宅を建てる場合
- ・ 一時的に資材置き場や建設残土を置く場合
- ・ 太陽光発電設備を設置する場合など

令和8・9年度 農作業等労働賃金標準額(改正)

農業委員会では、2年に1度の農作業等労働賃金標準額の見直しを行いました。次年度からの新しい標準額につきましては、2月2日から市ホームページ又は市役所農林水産課、各支所産業建設課にて公表していますので、必要な方はご確認ください。

あとがき

日ごろの農作業お疲れ様です。昨年は特に夏の暑さが一段と厳しく悩まされましたが、めげずに手をかけてきたことが実りをもたらしてくれたと思います。

農業は、政策や経済に左右されることが多いですが、一生懸命作った農作物を「おいしい」と言って求めてくれる人がいることや、この地域の田畑がふるさとの景観となつて心に残るものとなること、それを誇りにし、次の世代へつなげていきたいものです。

高橋大亮委員

広報部会長
広報副会長
広報部会員

大野 章
遠藤 俊
貝沼 勝
高橋 大
本間 俊
樹 亮